

令和 2 年度

事業報告

及び

附属明細書



社会福祉法人

大津市社会福祉事業団

令和 2 年度事業報告及び附属明細書 目次

○事業報告	・・・・・・・・	1 頁
・事業報告書【総括】	・・・・・・・・	1 頁
・評議員、役員名簿等	・・・・・・・・	4 頁
・組織図	・・・・・・・・	9 頁
・本部	・・・・・・・・	10 頁
・老人福祉センター	・・・・・・・・	16 頁
・デイサービスセンター	・・・・・・・・	18 頁
・ホームヘルプサービス事業	・・・・・・・・	19 頁
・障害者相談支援事業	・・・・・・・・	20 頁
・特別養護老人ホーム榛原の里	・・・・・・・・	21 頁
・さがみ川老人憩いの家運営事業	・・・・・・・・	24 頁
・ふれあいプラザ	・・・・・・・・	25 頁
・介護員養成研修事業	・・・・・・・・	26 頁
・木戸交流センター	・・・・・・・・	27 頁
・居宅介護支援事業	・・・・・・・・	28 頁
・地域包括支援センター	・・・・・・・・	30 頁
○事業報告の附属明細書	・・・・・・・・	31 頁
・社会福祉充実残額算定シート	・・・・・・・・	32 頁

令和2年度事業報告書

【総括】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により、一部事業の休止や一定期間の事業所の閉鎖なども余儀なくされ、大変厳しい経営環境の中での事業運営となった。令和3年4月の介護報酬改定では、コロナ禍が介護サービス事業者に与えた影響も考慮され、+0.7%の改定となったところである。

こうした中で、事業団では「みんなが一步前へ！新しい活動の種をまこう」をキャッチフレーズに、取組を進めてきた第2期中期計画（平成30年度～令和2年度）も最終年度の3年目を迎えたが、三密回避のため複数の事業所から集まる会議の開催を最小限に抑えたこと等もあり、一部の目標は未達となった。

また、大きな課題である介護人材確保は、思う通り進まなかったことから厳しい経営となった。令和元年度決算では、全体収支で350万円余の赤字額を計上したが、令和2年度においても人材確保に苦慮し、コロナ禍による各種事業の利用者数の減少もあり、1,891万円の赤字を計上することとなった。

このような厳しい経営環境の中ではあったが、「みんなを笑顔でつなぐ事業団」の理念のもと、次のような取り組みを進めてきた。

質の高い福祉サービスの提供では、コロナ禍の中で内部研修会の開催を見送らざるを得なかったが、オンライン研修を活用するなどして職員のスキルアップに努めた。また、通所部門では、事業所ごとに三密回避をしながらの運営に工夫を凝らし、感染予防に努めながら利用者満足に向けて取り組みを進めてきた。

新規事業の推進では、令和2年4月から5年間、大津市からの委託を受け真野地域包括支援センターを運営することになった。令和2年7月1日には新たに施設を開設し、葛川、伊香立、真野、真野北学区の高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、安心して自立した生活が続けられるよう包括的な支援体制やサービス提供体制の構築等に向けて取り組みを進めている。

現事業の再構築では、居宅介護支援事業について、令和2年4月より、これまでの7事業所体制を事業所の一部統合再編により5事業所体制に再編するとともに、職員配置も見直し、4事業所において特定事業所加算を取得した。なお、残りの1事業所についても職員確保が

でき次第、特定事業所加算を取得する予定である。

また、大津市から指定管理業務を受託している5つの老人福祉センター及び木戸デイサービスセンターについては、令和4年度に指定管理委託期間が終了することから、今後の事業のあり方について、引き続き大津市と協議を行っていく。

なお、市から事業譲渡を受け実施しているデイサービスセンター事業のうち大幅な赤字が継続している施設については、事業団全体の経営にも影響するため、利用の実態や周辺の状況をはじめ今後の見通し等を十分検討し、運営そのものを含めた今後の方針を決定し対応していく。

法人の安定経営に向けては、平成31年4月の人事・給与制度改革により支給してきた現給保障調整額が令和2年度に対前年度比で3百万円減少することから、これを職員に還元するため令和2年4月より短時間勤務職員への資格手当の支給を開始し、職員の待遇改善を図った。

また、短時間労働者及び有期雇用労働者の雇用管理の改善等に関する法律が令和2年4月1日に施行されたことに伴い、正規・非正規職員間の格差解消に向けて見直した休暇制度をはじめとする福利厚生制度について、令和2年4月1日から適用開始した。

特別養護老人ホーム榛原の里では、介護職員の退職等に伴う後任の補充が進まず、夜勤ができる職員数が大きく不足する事態となり、令和元年11月より長期・短期入所ベッドの1割を計画的に空床にし、夜勤体制の維持を図ってきた。その後も職員確保に努めてきたものの、新たな退職者や病休者が続いたことから、現在まで空床解消には至っておらず、厳しい経営となっている。現在、概ね人員確保もできたので、できるだけ早い時期に元の体制に戻して、入所者・利用者の増を図っていく。

また、サービスの質の向上と収益改善を図るため、特養・短期部門や在宅・居宅部門で進めてきたICT機器の導入については、令和3年3月にシステム導入が完了したため、4月より操作研修を開始した。早期に円滑な運用が図れるよう取り組みを進め、作業効率の改善やコスト削減、業務負担軽減による職員の定着率向上を目指していく。

地域への貢献では、不足する介護人材の育成に向けて、平成16年度から介護職員の養成研修を実施してきたが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により実施を見送った。平成30年度より実施してきた生活援助従事者研修についても同様に見送った。これまで毎年、多くの受講者が研修を修了し、事業団への就職者も迎えてお

り、貴重な人材育成と人材確保の機会となっていることから、令和3年度は、感染対策を十分に講じた上で再開していく予定である。

令和3年度から始まる第3期中期計画では、人材確保やコロナ禍によるサービス継続の危機など事業団を取り巻く外部環境の変化や、職員定着の課題、ICT導入といった内部環境の変化を踏まえた経営目標や事業別プロジェクトを設定しており、それらを推進することにより将来に向けて安定した経営が継続できる事業団を目指していく。

【評議員・役員名簿等】

1 評 議 員

(令和3年3月31日現在)

氏 名	所 属 団 体 ・ 役 職 等	就 任 年 月 日
重 永 博	大津市医師会会長	令和2年11月11日
竹 内 俊 彦	社会福祉法人大津市社会福祉協議会会長	令和元年7月1日
津 田 洋 子	大津市民生委員児童委員協議会連合会会長	平成29年4月1日
西 田 昌 弘	社会福祉法人滋賀同仁会特別養護老人ホーム千寿の郷施設長	令和2年6月9日
野 口 真 一	公認会計士・税理士	平成29年4月1日
松 田 輝 男	大津市老人クラブ連合会会長	令和元年6月6日
國 松 睦 生	大津市総務部長	平成30年6月8日

(定員7名)

2 役 員

(1) 理 事

(令和3年3月31日現在)

役 職 名	氏 名	職 名	就 任 年 月 日
理 事 長	鷺 見 徳 彦	大津市社会福祉事業団専任理事	令和2年4月1日
副 理 事 長	南 堀 弘	大津市健康保険部長	令和2年4月1日
理 事	石 塚 吉 輝	榛原の里利用者家族会代表	令和元年6月25日
	本 城 千 寿 子	大津市健康推進連絡協議会副会長	令和2年4月1日
	江 隅 定 雄	特別養護老人ホーム榛原の里所長	令和元年6月25日
	塩 見 弥 奈	滋賀県ホームヘルパー協議会会長	令和元年6月25日

(定員6名)

(2) 監 事

(令和3年3月31日現在)

役 職 名	氏 名	職 名	就 任 年 月 日
監 事	服 部 彰	元大津市総務部長	令和元年6月25日
	玉 井 泰 子	大津市会計管理者(兼)出納室長	令和2年4月1日

(定員2名)

3 評議員会

開催回等	開催・付議年月日	議案番号	付 議 事 項	議事結果
第1回	令和2年6月29日	議案第1号	令和元年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団の計算書類等の承認について	承認
		報告事項	社会福祉法人大津市社会福祉事業団経理規程の一部改正について	
第2回	令和2年11月19日	議案第2号	令和2年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団補正予算（第1次）について	同意
第3回	令和3年3月29日	議案第3号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団役員報酬及び費用弁償等規程の一部変更について	同意
		議案第4号	令和2年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団補正予算（第2次）について	同意
		議案第5号	令和3年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団事業計画及び予算について	同意
		議案第6号	監事の選任について	同意
		報告事項	第3期中期計画について	

4 理 事 会

開催回等	開催・付議年月日	議案番号	付 議 事 項	議事結果
第1回	令和2年4月1日	議案第1号	理事長の選任について	選任
第2回	令和2年6月9日	議案第2号	令和元年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団の事業報告及び決算の承認について	承認
		議案第3号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団組織及び事務分掌規程の一部改正について	同意
		議案第4号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団事務決裁規程の一部改正について	同意
		議案第5号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団経理規程の一部改正について	同意
		議案第6号	評議員の推薦候補者について	同意
		議案第7号	令和2年度定時評議員会の招集について	同意
第3回	令和2年11月11日	議案第8号	令和2年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団補正予算（第1次）について	同意
		議案第9号	評議員の推薦候補者について	同意
		議案第10号	令和2年度第2回評議員会の招集について	同意

開催回等	開催・付議年月日	議案番号	付 議 事 項	議事結果
		報告事項	(1) 理事長の職務執行状況の報告について (2) 新型コロナウイルス感染症への対応状況について	
第 4 回	令和 3 年 3 月 17 日	議案第 11 号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団就業規則の一部改正について	同 意
		議案第 12 号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団給与規程の一部改正について	同 意
		議案第 13 号	積立金の取崩及び積立について	同 意
		議案第 14 号	令和 2 年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団補正予算（第 2 次）について	同 意
		議案第 15 号	令和 3 年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団事業計画及び予算について	同 意
		議案第 16 号	施設長の任免について	同 意
		議案第 17 号	令和 2 年度第 3 回評議員会の招集について	同 意
		報告事項	(1) 理事長の職務執行状況の報告について (2) 第 3 期中期計画について (3) 社会福祉法人大津市社会福祉事業団役員報酬及び費用弁償等規程の一部改正について	
第 5 回	令和 3 年 3 月 30 日	議案第 18 号	役員等賠償保険の契約締結について	同 意

5 監事監査

監査種別	執行期日	主な監査項目
決算監査	令和 2 年 6 月 2 日	令和元年度事業実施状況 令和元年度収支決算状況
半期監査	令和 2 年 10 月 28 日	令和 2 年度上半期事業実施状況 令和 2 年度上半期収支状況

6 加入団体（抜粋）

(1) 独立行政法人 福祉医療機構	(2) 社会福祉法人全国社会福祉事業団協議会
加入年月日 平成 5 年 4 月 1 日	入会年月日 平成 5 年 4 月 1 日
共済契約者番号 2 5 0 1 5 4	会員番号 4 3 2
社会福祉施設職員等退職手当共済制度に加入のため	年金共済加入と情報交換等のため

7 事業団施設の種別・名称及び所在地

(令和3年3月31日現在)

種 別	名 称	所 在 地	
主たる事務所	本部事務局	大津市浜大津四丁目1番1号	☎(527)9552
老人福祉センター	大津市立木戸老人福祉センター	大津市木戸58番地	☎(592)1133
	大津市立北老人福祉センター	大津市今堅田二丁目4番1号	☎(573)7123
	大津市立中老人福祉センター	大津市打出浜1番5号	☎(526)2752
	大津市立南老人福祉センター	大津市南郷一丁目14番30号	☎(537)7417
	大津市立東老人福祉センター	大津市玉野浦6番33号	☎(545)5970
老人デイサービスセンター	大津市立木戸デイサービスセンター	大津市木戸709番地	☎(592)8022
	唐崎デイサービスセンター	大津市唐崎三丁目17番35号	☎(578)6488
	晴嵐デイサービスセンター	大津市北大路一丁目9番2号	☎(537)3909
	三大寺デイサービスセンター	大津市三大寺8番D3-101号	☎(545)3991
ヘルパーステーション	真野ヘルパーステーション	大津市真野四丁目24番38号	☎(573)7814
	比叡すこやかヘルパーステーション	大津市坂本六丁目1番11号	☎(578)8330
	中すこやかヘルパーステーション	大津市浜大津四丁目1番1号	☎(527)1295
	膳所すこやかヘルパーステーション	大津市膳所二丁目5番5号	☎(522)1304
	南すこやかヘルパーステーション	大津市南郷一丁目14番30号	☎(534)0319
	瀬田すこやかヘルパーステーション	大津市大江三丁目2番1号	☎(545)0301
居宅介護支援事業所	木戸障害相談・居宅介護支援事業所	大津市木戸709番地	☎(592)8022
	真野居宅介護支援事業所	大津市真野四丁目24番38号	☎(573)9905
	比叡すこやか居宅介護支援事業所	大津市坂本六丁目1番11号	☎(572)7768
	中すこやか居宅介護支援事業所	大津市浜大津四丁目1番1号	☎(536)6449
	瀬田すこやか居宅介護支援事業所	大津市大江三丁目2番1号	☎(548)6068
地域包括支援センター	真野地域包括支援センター	大津市真野四丁目24番38号	☎(573)1521
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム榛原の里	大津市真野普門三丁目1120番地	☎(573)9901

そ の 他 施 設	大津市ふれあいプラザ	大津市浜大津四丁目1番1号	☎ (527) 8351
	大津市立木戸交流センター	大津市木戸709番地	☎ (592) 8022

*特別養護老人ホーム榛原の里については、平成23年4月1日 大津市から建物の無償譲渡を受け、事業団所有として、所有権移転登記を完了した。

なお、土地は大津市（一部民間所有者）からの有償による借地である。

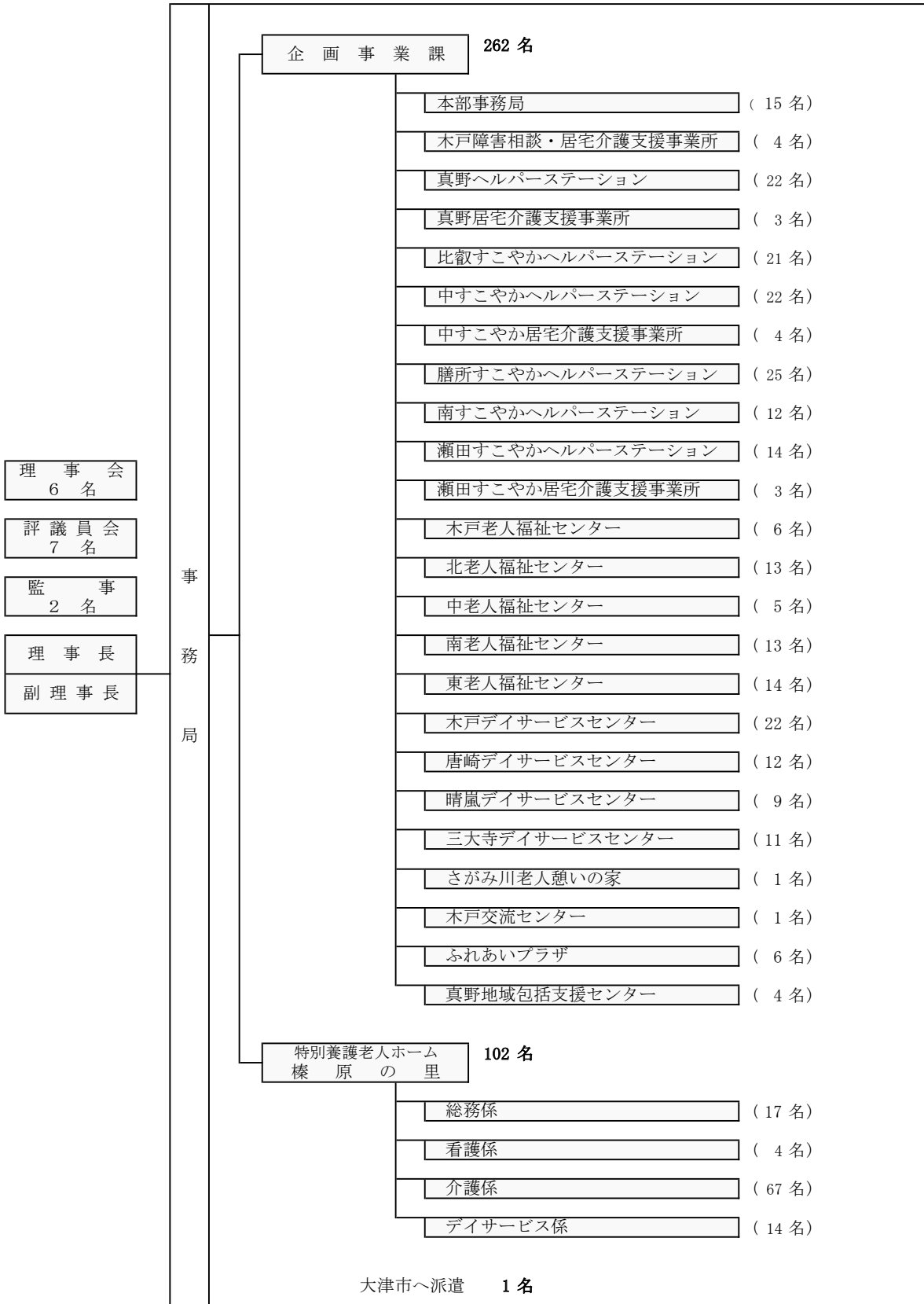
建物の種類・構造・床面積等

・鉄筋コンクリート・鉄骨造3階建 6,175.43 m² ・倉庫、車庫 鉄骨造平屋建 102.00 m²

社会福祉法人大津市社会福祉事業団組織図

理事長 鷺見 徳彦
平成5年2月1日設立

令和3年3月31日現在



職員内訳	正規職員	100名	(企画事業課6名、訪問介護26名、居宅・包括15名、榛原の里52名、大津市派遣1名)
	嘱託職員	55名	
	契約職員	117名	
	パートヘルパー	85名	
	年休対応職員	17名	
	嘱託医・産業医	8名	
	合計	382名	

【本 部】

事業団本部事務局では、社会福祉法人としての適正な業務管理体制の維持・改善に努めるとともに、介護・福祉サービス事業者としての存在価値を高め持続的発展を図るため、中期計画に基づく改革プロジェクトを実施した。

1. 業務管理体制の状況

(1) 契約審査委員会

一定額以上の工事・修繕や業務委託、物品の購入やリース契約等にあたっては、契約審査委員会にて入札案件の仕様書や随意契約業者の選定等について審査を行い、適正な業務執行を図った。

契約審査委員会 開催実績	
令和2年度開催状況	開催回数 10回 審査件数 延べ27件
主な審査案件名	① 榛原の里本館居室改修工事 (契約予定金額 約16百万円) ② 空調設備更新工事 (年間支払い総額 約14百万円) ③ 眠りスキャン購入及び通信環境構築 (費用総額 約8百万円) ④ 真野地域包括支援センター事務物品の納入及び設置 (見積照合業者選定) ⑤ R3, 4年度施設清掃及びボイラ設備等運転管理業務 (入札参加業者選定) 他

(2) 安全衛生委員会

職員の健康管理と職場での労働災害の防止を目的に安全衛生活動として、職場点検・労働災害再発防止の検討を行った。

開催期日	安全衛生推進事業の内容等						
令和2年7月	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度定期健康診断の実施 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>受診者</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>376人</td> <td>354人</td> <td>94.1%</td> </tr> </tbody> </table> 榛原の里ストレスチェックの実施 	対象者	受診者	受診率	376人	354人	94.1%
対象者	受診者	受診率					
376人	354人	94.1%					
令和2年9月、10月及び 令和3年3月	<ul style="list-style-type: none"> B型肝炎予防接種の実施(年3回) 対象者19名 						
令和2年11月	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ予防接種助成 						
令和2年12月	<ul style="list-style-type: none"> 各事業所職場点検の実施 						
令和3年1月	<ul style="list-style-type: none"> 深夜業健診の実施(榛原の里) 対象者41名 						
令和3年2月	<ul style="list-style-type: none"> 労働災害防止取組計画作成(労働基準監督署報告) 						
	産業医、保健師による面談及び相談 安全衛生委員会の開催見送り						

2. 事業団改革プロジェクト

(1) 中期計画進捗会議／中期計画進捗会議事務局会議／実績会議への報告

第2期中期計画(平成30～令和2年度)3年目では、計画作成からその成果等における振返りを行うとともに、次期中期計画の策定に向けた協議を行った。次期中期計画策定においては、事業団の安定的な運営に向けて、事業運営に大きく影響を及ぼす人材不足の解消に向けた人材確保計画や職員定着支援の内容、さらには新型コロナウイルス感染拡大においても着実に業務や中期計画が遂行できる体制づくり等を重要項目として捉え、中期計画の内容に組み込んだ。尚、第2期中期計画(3年目)において開催された会議等について、下記のとおり報告する。

中期計画関連会議等 開催実績		
会議名称	開催日	主な議事
事務局会議①	令和2年7月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・中期計画実施目的(重要性の再確認) ・第2期中期計画(2年目)の振返り ・第2期中期計画(3年目)の作成スケジュール及び内容について(項目確認) ・第2期中期計画進捗会議(全体会)の内容及び進め方
事務局会議②	令和2年7月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期(3年目)中期計画最終案について ・第2期中期計画進捗会議(第1回)の内容最終確認 ・部門ヒアリング実施に向けて
進捗会議①	令和2年8月6日	<p>【全体会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期計画実施目的説明 ・第2期中期計画(3年目)の内容及びスケジュール <p>【部門別会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2期(3年目)事業部門別計画実施内容及び推進体制確認 ・プロジェクト別推進担当者及び責任者の決定 ・第2期(3年目)中期計画部門別目標設定 <p>【各事業部門からの発表内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2期(3年目)中期計画部門別目標 <p>※項目ごとに「達成目標・着地点」「検討すべき課題及び対策」をまとめる</p>
事務局会議③	令和2年 11月4日～5日	<p>【第1部】</p> <p>《全体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業団の諸事業の見通し ・10年収支予想(案) ・第3期中期計画の基本方針 ・中期計画進捗会議(第2回)の開催日程 <p>【第2部】</p> <p>《榛原の里》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的空所の解消に向けた進捗状況 ・ICT機器の導入計画 ・10年収支予想(案)及び将来構想 <p>【第3部】</p> <p>《全体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員ヒアリングからの気づき ・第3期中期計画への反映 ・今後の進め方

中期計画関連会議等 開催実績		
会議名称	開催日	主な議事
進捗会議②	令和2年 12月16日	<p>【事業部門別会議】</p> <p>第2期中期計画（3年目）単年度計画の振返りについて</p> <p>【全体会】</p> <p>第3期中期計画策定に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業団の方向性 ・スケジュール ・事業部門別コンセプトの設定
事務局会議④	令和2年 12月7日～8日	<ul style="list-style-type: none"> ・事業部門別第3期中期計画について ・第3期中期計画策定の進め方について
事務局会議⑤	令和3年 1月18日～19日	<ul style="list-style-type: none"> ・事業部門別第3期中期計画の内容精査 ・協議結果整理 ・第3期中期計画策定の今後の方向性について
事務局会議⑥	令和3年 2月8日及び15日	<ul style="list-style-type: none"> ・事業部門別第3期中期計画の内容精査（最終調整） ・協議結果整理
進捗会議③	令和3年3月12日	<p>【事業部門別会議】</p> <p>第2期中期計画（3年目）単年度計画の振返りについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単年度計画の進捗成果 ・特に力を入れていきたい内容についての成果等 <p>第3期中期計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3期中期計画概要について ・第3期中期計画における実施項目、内容及びスケジュールの確認 ・第3期中期計画重点項目及び実施内容から反映した内容 <p>【全体会】</p> <p>各事業部門からの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3期中期計画重点項目及び実施内容から計画へ反映した内容について ・計画の大きな変更点等

(2) 特に力を入れていきたい内容に対する成果

第2期中期計画（3年目）に掲げた項目のうち、特に力を入れていきたい内容について各部門における取り組み内容及び成果を下記のとおり報告する

【榛原の里】

●項目：最善のサービスを提供する	
達成目標・着地点	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の働きやすさ、ご家族の声にお応えし、最前サービスを提供する ・ご利用者向けアンケートの内容を現場に活かしていき、ご利用者に還元していく ・ICT導入の検討 ・アンケート結果の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT導入については、眠りスキャン40台、記録ソフト及びWi-Fiアクセスポイント32か所導入決定 ・タブレット10台及びPC推奨スペック9台導入に向け進め、4月からの稼働に向け段階的に取り組んだ ・タブレットの導入も含めICTスキルの勉強会を随時開催 ・アンケートについては、職員向け接遇向上をテーマに実施し、課題を共有しサービス向上に結び付けている
●項目：施設内研修の充実	
達成目標・着地点	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍、施設内で職員が集まらずに研修課題とビデオを視聴し、レポートを提出するなど工夫を行った（介護スキルや新人研修の実施等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・YouTube等視聴型研修の実施 ・感染症、身体拘束廃止、認知症、排泄等テーマを各自に出し、「個人演習型」の研修を実施（テーマに対し、参考文献を読解するなど、各自が考え実践に結びつける研修に取り組んだ ・研修委員会が軸となり研修企画の策定を行った
●項目：利用者増に向けた営業活動	
達成目標・着地点	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット等を活用し、情報発信を行っていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットを作成し、近隣居宅事業所やフォーマルサービス箇所へ配布 ・ホームページに情報をアップするなど、PR活動を展開した ・短期入所において、広報誌「湖魚だより」を作成しご利用者に配布した

【在宅・居宅】

●項目：業務支援ソフト導入検討、事業のICT化促進	
達成目標・着地点	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年3月運用に向け検討を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護支援システムを3月までに導入、4月から稼働、研修と習熟を行い、6月から本格稼働を目指す ・各ヘルパーステーションに訪問介護支援システム担当者を決定するとともに、導入研修日程の決定を行った
●項目：日々の業務における介護技術基本チェックリストの内容検討とリスト作成・実施	
達成目標・着地点	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・年度内の研修で補えるように日程を組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・各ステーションで9月に、基本チェックリストの記入を実施し、集計が完了した ・居宅の基本チェックリスト（案）を作成した

【通 所】

●項目：事業別経営改革推進会議の開催	
達成目標・着地点	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・短期間で実施できる内容について確実に課題解決等行っていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組むべき内容を委員会で確認し、地域サロンとの関係づくりやWeb会議参加に向けての環境整備等、短期間で実施する内容については全て課題を解決することができた
●項目：研修の充実	
達成目標・着地点	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容から実施まで、研修委員と協議し決定していく ・今年度のみでなく、次年度の研修計画について検討を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、研修会の開催を見合わせる事となったが、次年度の研修内容「感染症対策について」及び開催方法について決定した
●項目：職員の意欲・帰属意識の向上に向けて	
達成目標・着地点	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所で作成する「改善チャレンジシート」が確実に作成、運用できるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善チャレンジシートの活用状況及び実施方法の確認を行い、改善点の洗い出しと実施に向けた基準表を作成した

【法人本部】

●項目：事業団職員として一体感醸成	
達成目標・着地点	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・えがお通信の年2回発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月（NO.10）及び3月（NO.11）に発行 ・掲載内容の精査、執筆、編集、発行業務を複数で分担することにより、作業時間の短縮と担当者の負担軽減を図った ・記事により親近感を持ってもらえるよう、クロスワードパズルを掲載するなど工夫を行った
●項目：新人事・給与制度の確立と運用	
達成目標・着地点	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・勤怠管理システムの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤怠管理システム導入における業者決定 ・導入に向けた協議の開始及びスケジュールが確定
●項目：長期収支計画の策定	
達成目標・着地点	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・長期収支計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門における10年収支見通し（案）を策定し、中期計画事務局会議において報告

3. 人材育成

(1) 国家資格等取得及び更新の奨励制度の活用状況

平成30年4月1日から施行している「国家資格等取得及び更新の奨励に関する要綱」に基づき、奨励金及び助成金を令和2年度に研修申し込みを行った職員に支給した。

令和2年度の制度活用実績				
資格の種類	支給対象項目	支給した人数	支給金額合計	うち県補助金*
介護職員初任者研修修了	研修受講	0名	0円	0円
介護福祉士	実務者研修受講	4名	321,736円	190,000円
	試験合格	6名	120,000円	
介護支援専門員	実務研修	1名	10,000円	
	更新研修	4名	40,000円	
令和2年度支給額 合計			491,736円	190,000円

(*) 滋賀県介護職員研修受講支援事業費補助金を申請し、支給額の3分の2の補助金を受けている。

4. 職員の入職・退職状況（事業団全体）

(1) 令和2年度の入・退職実績人数（R2.4.1～R3.3.31）

雇用形態	正 規	嘱 託	契 約	パートホームヘルパー	合計
入 職	12名	9名	37名	6名	64名
退 職	11名	3名	31名	7名	52名
R2.4.1 在職人数	101名	62名	120名	88名	371名
離職率	10.9%	4.8%	25.8%	8.0%	14.0%

※ R2.4.1 現在人数には嘱託医、年休対応職員を含む

(2) 令和2年度 職員募集・採用選考実施状況（令和3年度入職予定者含む）

募集職種		選考実施回数	応募者数	採用決定者数	採用決定者内訳
正 規 職 員	ケアワーカー（榛原）	7回	8名	4名	うち2名は契約職員から登用
	ホームヘルパー	1回	1名	0名	
	ケアマネジャー	2回	2名	1名	うち1名は辞退
	事務職員（本部）	2回	44名	3名	1回目：1名／2回目：2名
	合 計	12回	55名	8名	
募集職種		採用決定者数	応募のきっかけ		
パートホームヘルパー		6名	職員からの紹介(6)		

募集方法等：ハローワーク・福祉人材センター、新聞折込・求人誌、福祉のお仕事説明会、人材派遣・人材紹介他

【老人福祉センター】

位 置	大津市立木戸老人福祉センター 大津市木戸58番地 大津市立北老人福祉センター 大津市今堅田二丁目4番1号 大津市立中老人福祉センター 大津市打出浜1番5号 大津市立南老人福祉センター 大津市南郷一丁目14番30号 大津市立東老人福祉センター 大津市玉野浦6番33号
-----	--

事業内容
 ・老人福祉法に基づく老人福祉センター
 ・老人福祉法に基づくデイサービス事業
 （木戸・中老人福祉センターを除く。）

事業報告
 大津市の指定管理を受け管理運営を行っている5か所の老人福祉センターでは、市内在住の60歳以上の高齢者の福祉増進の拠点として、健康等に関する各種相談をはじめ、介護予防のための運動実践として「介護予防講座」を開催する等、利用者が健康で明るく、そして気軽に楽しく過ごせる場の提供を行っている。令和2年度は、昨年度から続く、新型コロナウイルス感染拡大に伴い一時閉館することとなったが、5月中旬の再開後は検温やアルコール消毒の徹底及びソーシャルディスタンスを保つため、利用制限を行う等対策を取りながらの運営となり、昨年度と比べ利用者数は大幅減となった。また、毎年開催している高齢者趣味講座発表会等のイベントを自粛するなど大変厳しい1年となった。一方、人数制限はあるものの、平成21年10月より開催している介護予防講座「ずーっと元気体操」をはじめ、シニアエアロビクス（木戸老）、歌と音楽の健康体操（中老）、レベルアップ体操（南老）など、介護予防に向けた内容を取り入れた運動教室について開催することができた。また、1回100円の一般利用者を対象とした入浴サービスも利用制限はあるものの再開することができた。

北、南、東の各老人福祉センターのデイサービス事業では、介護保険法に基づき要介護及び要支援等の認定を受けられた高齢者に対し入浴や食事、日常動作機能回復訓練、レクリエーション等により自立した生活が営めるよう支援等を行うとともに、利用者一人ひとりに対してより一層きめ細かいサービスを提供することに努めた。

今後においても、新型コロナウイルス感染拡大の終息が見えない中ではあるが、感染予防対策を徹底し運営を行っていく。

1. デイサービス利用状況

項目 \ 施設名	北老人福祉センター	南老人福祉センター	東老人福祉センター	
実施日数	255日	255日	255日	
年間利用延人数	2,732人	3,747人	3,651人	
年間平均利用者数	元年度	10.8人/日	15.3人/日	14.8人/日
	2年度	10.7人/日	14.7人/日	14.3人/日
入浴介助	2,437人	3,257人	3,173人	
サービス提供体制強化加算	加算Ⅱ	加算Ⅰ（イ）	加算Ⅱ	

2. 老人福祉センター利用状況

(生きがい事業)

項目\施設名		木戸老人福祉センター	北老人福祉センター	中老人福祉センター		
開館日		257 日	257 日	257 日		
年間 利用 人員	元年度	23,975 人 (1日当り 88 人)	17,333 人 (1日当り 64 人)	38,343 人 (1日当り 141 人)		
	2年度	12,386 人 (1日当り 48 人)	12,322 人 (1日当り 48 人)	27,524 人 (1日当り 107 人)		
入浴者数		3,852 人 (1日当り 21 人)	5,542 人 (1日当り 30 人)	5,917 人 (1日当り 32 人)		
各種相談事業 年間利用人員	医療相談(週1回)	1 人	1 人	12 人		
	健康・生活相談	15 人	0 人	162 人		
各種教養講座 年間利用人員	朗仁講座(4講座)	30 人	和紙人形教室(月1回)	23 人	俳句教室(月1回)	66 人
	フォークダンス	207 人	民謡教室(月2回)	85 人	民謡教室(週1回)	202 人
	源氏茶論	58 人	歌謡教室(週1回)	684 人	舞踊教室(月4回)	275 人
	キルトサークル	183 人	民謡教室(週1回)	93 人	茶道教室(表)(月1回)	6 人
	自彊術	241 人	詩吟同好会	64 人	茶道教室(裏)(月2回)	5 人
	絵手紙	313 人	癒しの園芸療法	25 人	煎茶教室(月2回)	17 人
	太極拳	191 人			ちぎり絵教室(月2回)	69 人
					大正琴教室(月2回)	103 人
健康体操 年間利用人員	ずーっと元気体操	2,300 人	ずーっと元気体操	1,400 人	ずーっと元気体操	1,380 人
	健康体操	44 人	健康体操	123 人	健康体操	179 人
				歌と音楽の健康体操	166 人	

項目\施設名		南老人福祉センター	東老人福祉センター	
開館日		257 日	257 日	
年間 利用 人員	元年度	27,877 人 (1日当り 102 人)	18,926 人 (1日当り 69 人)	
	2年度	11,525 人 (1日当り 45 人)	8,120 人 (1日当り 32 人)	
入浴者数		5,351 人 (1日当り 29 人)	3,975 人 (1日当り 22 人)	
各種相談事業 年間利用人員	医療相談(週1回)	0 人	医療相談(週1回)	36 人
	健康・生活相談	0 人	健康・生活相談	0 人
各種教養講座 年間利用人員	民謡教室(週1回)	99 人	シニアパソコン	126 人
	気功教室(月2回)	105 人	若葉会(手芸)	129 人
	詩吟教室(週1回)	3 人	舞踊教室(週1回)	304 人
	漢字書道教室(月2回)	132 人	大正琴教室(月2回)	70 人
	かな書道教室(月2回)	126 人	日本手毬(月1回)	36 人
	ちぎり絵教室(月2回)	184 人	太極拳	331 人
	民謡教室(月2回)	172 人		
大正琴教室(月2回)	136 人			
健康体操 年間利用人員	ずーっと元気体操	1,229 人	ずーっと元気体操(体操)	609 人
	健康体操	78 人	ずーっと元気体操(気功)	811 人
	レベルアップ体操	314 人	健康体操	106 人

※入浴実施状況 各老人福祉センターとも (週5日) 火・水・木・金・土

※5センター利用者合計 2年度 71,877 人 元年度 126,454 人
(1日あたり 280 人) (1日あたり 463 人)

※大津市の要請により、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年3月6日より老人福祉センター(生きがい事業)を閉館とし、5月中旬に再開

【デイサービスセンター】

位 置	大津市立木戸デイサービスセンター	大津市木戸709番地
	唐崎デイサービスセンター	大津市唐崎三丁目17番35号
	晴嵐デイサービスセンター	大津市北大路一丁目9番2号
	三大寺デイサービスセンター	大津市三大寺8番D3-101号

事業内容 ・老人福祉法に基づく老人デイサービスセンター

事業報告 木戸、唐崎、晴嵐及び三大寺デイサービスセンターで実施しているデイサービス事業では、介護保険法に基づき要介護及び要支援等の認定を受けられた高齢者に対し入浴や食事、日常動作の機能回復訓練、レクリエーション等により自立した生活が営まれるよう在宅福祉の支援に努めるとともに、利用者一人ひとりに対し、より一層きめ細かいサービスを提供することに努めた。一方、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、毎年実施していた地域と密着したデイサービスを目指すための行事（夏祭り等）は全て中止することとなった。

木戸デイサービスセンターでは、利用者ご自身の自立に向けた支援や日常生活の充実を目的に、理学療法士による機能訓練（リハビリ）をご利用者の心身状況に応じて実施した（年間利用者数 2,498人）。

唐崎及び三大寺デイサービスセンターでは、生活援助員派遣事業（シルバーハウジング世話付住宅）を行い、入居者に対する安否確認や日常の生活援助を行うため生活援助員を配置し、安心した生活が営まれるよう支援を行った。シルバーハウジングの入居状況は、令和3年3月末現在で、唐崎11世帯(内、独居10世帯)、三大寺26世帯(内、独居18世帯)である。

また、唐崎デイサービスセンターでは、地域の高齢者へ施設を開放するとともに、人数制限を設けながらではあるが1回100円の一般利用者を対象とした入浴サービスを実施した。

唐崎デイサービスセンター一般利用者合計 年間1,779人

(1日あたり 9.7人)

尚、大津市からの「新型コロナウイルス感染症に係る市の施設閉鎖要請」に伴い、令和2年3月6日より唐崎デイサービスセンターの一部を閉館していたが、5月中旬に再開することができた。今後においても、新型コロナウイルス感染拡大の終息が見えない中ではあるが、感染予防対策を徹底し運営を行っていく。

デイサービス利用状況

項目 \ 施設名	木戸デイサービスセンター	唐崎デイサービスセンター	晴嵐デイサービスセンター	三大寺デイサービスセンター	
実施日数	255日	255日	250日	255日	
年間利用延人数	7,307人	3,720人	3,480人	2,513人	
年間平均利用者数	元年度	27.8人/日	15.2人/日	14.1人/日	9.7人/日
	2年度	28.7人/日	14.6人/日	13.9人/日	9.9人/日
入浴介助	5,689人	3,401人	3,059人	2,396人	
サービス提供体制強化加算	加算Ⅰ(イ)	加算Ⅱ	加算Ⅰ(ロ)	加算Ⅰ(ロ)	

※晴嵐デイサービスにおいて、ご利用者の新型コロナウイルス感染が確認されたため、令和3年1月11日より5日間デイサービスを休止

【ホームヘルプサービス事業】

- 事業内容
- ・老人福祉法に基づく老人居宅介護等事業
 - ・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業
(居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護)
 - ・障害者移動支援事業 (大津市委託事業)
 - ・多胎児家庭育児支援事業 (大津市委託事業)
 - ・生活応援サービス (自費サービス)

事業報告 7月に真野地域包括支援センターの開所に伴い、堅田すこやかヘルパーステーションを同センターに移転し、真野ヘルパーステーションとして事業を実施することとなった。

パートホームヘルパーは前年度から3名少なくなり、また高齢化により1人あたりの稼働時間も減少傾向が継続している。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により介護サービスの利用控えや、ヘルパーが感染することによる、事業所閉鎖や自宅待機によって、サービスの提供を中止等することにより、提供時間数が減少している。

今後は、感染症対策を十分に行いながら、訪問介護業務のICT化による業務の効率化を推進することで、職場環境の改善や教育・指導のための時間を確保し、パートホームヘルパーの増員・定着に努め、増加する介護需要に対応し、収益の改善を図る。

ホームヘルパー利用実績

・令和元年度

区 分	年間延利用人数	月平均	年間利用時間
介護保険 (訪問・総合事業)	5,739人	478人	49,332時間
障害福祉サービス事業	1,920人	160人	17,799時間
障害者移動支援事業	59人	5人	340時間
多胎児育児支援事業	78人	7人	242時間
計	7,796人	650人	67,713時間

生活応援サービス	241人	20人	400時間
----------	------	-----	-------

・令和2年度

区 分	年間延利用人数	月平均	年間利用時間
介護保険 (訪問・総合事業)	5,431人	453人	47,317時間
障害福祉サービス事業	1,812人	151人	16,868時間
障害者移動支援事業	61人	5人	323時間
多胎児育児支援事業	45人	4人	161時間
計	7,349人	613人	64,669時間

生活応援サービス	185人	15人	301時間
----------	------	-----	-------

【障害者相談支援事業】

- 事業内容
- ・大津市からの委託による障害者の相談支援事業
 - ・障害者総合支援法に基づく障害者一般相談支援事業・特定相談支援事業
 - ・児童福祉法に基づく障害児相談支援事業

事業報告 木戸デイサービスセンター内に、木戸障害者相談支援センターを開設し、専任の相談員1名が相談事業に従事している。

市からの委託料 月額262,500円

個別訪問調査委託料 1件 6,920円

サービス利用支援 1件 15,497円

継続サービス利用支援 1件 12,836円

主な支援方法は、訪問や来所による相談、同行、関係機関との調整などであり、支援内容は福祉サービスの利用方法・事業所等の紹介、社会参加・余暇活動の紹介、家族関係・人間関係の調整、サービス等利用計画の作成とそれに伴うモニタリングの実施、障害支援区分の認定調査などである。

相談実績 個別相談支援活動の件数

支援方法	令和元年度		令和2年度	
	人数	延べ回数	人数	延べ回数
訪問	94	621	95	426
来所相談	10	18	11	17
同行	14	20	13	38
電話相談	41	246	43	278
電子メール	10	49	12	31
個別支援会議	23	42	26	39
関係機関	98	1,405	90	1,320
その他	10	12	12	14
書類作成提出	0	0	0	0
合計	99	2,413	94	2,163

※ 個別相談活動の人数については、それぞれの支援方法の人数には重複があり、合計人数は実人数を示しているため、全ての支援方法の人数の合計とは異なる人数となっている。

【特別養護老人ホーム榛原の里】

位 置 大津市真野普門三丁目 1 1 2 0 番地

- 事業内容
- ・老人福祉法に基づく特別養護老人ホーム
 - ・老人福祉法に基づく老人短期入所事業（ショートステイ）
 - ・老人福祉法に基づく老人デイサービス事業

事業報告

1. 特別養護老人ホーム（長期入所）・・・定員 1 1 4 名

令和元年度からの介護職員不足により施設体制の縮小を余儀なくされ計画的空床を実施してきた。今期は職員採用の改善見通しを前提に夜勤介護職員 4 2 名を想定し、稼働率を定員 1 1 4 名に対し 9 3. 9 % の 1 0 7. 0 人 を 目標値とした。採用等の実績は令和 2 年度中に採用 6 名、退職 2 名、長期療養 2 名で 4 1 名体制（令和 2 年 3 月末 3 6 名体制）までなり人員体制はあと一息のところであるが 1 0 0 % の空床改善に至らず最終的に 1 0 1. 3 人の稼働状況となった。引き続き夜勤介護職員の確保に向け、情報発信し満床に向け推進していく。ICT 導入に関しては滋賀県介護職員環境改善支援事業補助金を活用し眠りスキャン 4 0 台、Wi-Fi のアクセスポイント 3 2 ヶ所の設置や記録ソフトケアカルテ等導入できた。ハード面は一部、納入遅れの機器もあるが概ね、ICT の体制は構築できた。今後は ICT 会議を随時、開催し活用方法のスキルアップを目指し入居者の安眠確保や職員の労力軽減を図る。

最優先対応であるコロナ対策ではコロナ委員会を立ち上げ、職員通用門口に自動水栓手洗い場の増設や各フロアに大型空気清浄機 1 5 台を設置した。何れも新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用した。またタブレットによるリモート面会を実施し、家族様等から好評を得ている。職員については消毒ボトルの携帯など徹底した予防に努めている。

施設内委員会（研修・広報・給食・衛生・排泄）においては常に課題抽出を行い、全員が課題共有できるようセクション間での連携を意識した運営ができた。処遇向上に向け生活面へのサポートとして生活アセスメントを行うことでニーズを把握し全体カンファレンスを行い、更に日々、ケアマネジャー等が入居者のその人らしい生活を送っていただけるようケアプランを作成し入居者に寄り添った支援を心掛けた。

なお、3 月末現在の入所申込者は約 6 5 6 名となっている。入所決定にあたっては透明性を確保するため県が提示している入所ガイドラインに沿って、「入所決定に関する要綱」を定め、第三者委員を含む入所判定委員会を開催し、入所の必要性の高い方から順次、入居いただいている。

※令和3年3月31日現在の状況は次のとおりである。

(1) 入所区分

区 分	男 性	女 性	計
男 女 別	11人	98人	109人
平 均 年 齢	87.0歳	90.1歳	89.7歳

- ・市内入所者 108人 市外入所者 1人
- ・90歳以上 57人 (男性 5人、女性52人)
- ・最高年齢者 105歳(女性) 最低年齢者 69歳(女性)

(2) 要介護区分

要介護度	1	2	3	4	5	平均要介護度
人 数	0	1	46	38	24	3.78
比 率	0%	0.9%	42.2%	34.9%	22.0%	

(3) 入居状況(稼働率)

年度	利用延人数	稼働率	一日当たり入居者数	定員
30年度	38,358人	95.5%	105.1人/日	110床
元年度	37,743人	90.4%	103.1人/日	114床
2年度	37,073人	88.8%	101.3人/日	114床

(4) 心身の状況

- ・ねたきり 15人 (入所者全体の13.8%)
- ・車椅子利用 85人 (" 78.0%)
- ・認知症関係 103人 (" 94.5%)

2. ショートステイ・・・定員16名

寝たきりや認知症など介護を必要とする高齢者を抱える家族が、一時的にご家庭で介護が困難な場合やレスパイトケアを目的に短期入所サービスを利用されるもので、日常生活上の援助等を個別のニーズに基づいた短期入所生活介護サービス計画により提供した。夜間介護職員不足により1日平均9名(56%)の稼働状況となった。

・利用状況

年度	利用実数	利用延人数	稼働率	一日当たり利用者数	定員
30年度	473人	6,372人	87.5%	17.5人/日	20床
元年度	316人	3,606人	61.9%	9.9人/日	16床
2年度	278人	3,274人	56.2%	9.0人/日	16床

3. デイサービス・・・定員29名（通常規模型）

要介護、要支援状態または事業対象者（総合事業）と判定された方が、利用者の社会的な孤独感の解消及び心身の機能維持を図るため、また、家族介護の軽減に資するため、個別のニーズに基づいた通所介護サービス計画によりサービス提供に努めた。

今期は利用者様アンケートを実施しニーズ対応をフィードバックし、サービスの質の向上に努めた。

・利用状況

区分	実施日数	利用者数	1日当り 利用者数	サービス内容	
				入浴	食事
通常 規模型	255日	介護5,034人 予防1,100人 計6,134人	24.1人	5,105人	6,130人

※元年度 23.2人/日

4. 令和2年度榛原の里施設整備事業

榛原の里は、平成23年4月1日より大津市から施設譲渡を受け、大津市との間での譲渡に関する協定書により、平成23年度から10年間（平成32年度）で5億円の改修事業を実施する。（市からの補助金は60%の3億円）

令和2年度はその最終年度にあたり下記の事業を実施した。尚、未執行分の補助金として大津市特別養護老人ホーム榛原の里施設整備等改修事業補助金交付基準に基づき令和3年4月1日から令和6年3月31日まで年額20,000千円交付される。

・施設整備費の内訳

工事名		金額（税込）円
① 本館1階居室改修工事（令和2年度）		16,016,000
② 別館ガスヒーポン更新工事		13,706,000
③ 吸収式冷温水機修繕工事		836,000
④ 本館厨房エアコン更新工事		2,279,200
⑤ 照明設備LED化更新工事		496,100
合 計		33,333,300
財源内訳	市補助金（6割）	19,999,980
	事業団負担（4割）	13,333,320

【大津市立さがみ川老人憩の家運営事業】

位 置 大津市膳所二丁目5番5

事業報告 令和元年度から大津市の委託を受け、施設の管理及び運営を行なった。
さがみ川老人憩の家では、市内に居住する60歳以上の高齢者の心身の健康増進を図ることを目的に、入浴事業を実施した。

利用状況

入浴者数

年 度	項 目	開館日	入浴者数
元年度	年間計	130日	3,673人
	1日平均		28.3人
2年度	年間計	102日	1,809人
	1日平均		18.7人

※大津市からの「新型コロナウイルス感染症に係る市の施設閉鎖要請」に伴い、令和2年3月6日より施設を閉鎖し、7月に再開した

【ふれあいプラザ】

位 置 大津市浜大津四丁目1番1号（明日都浜大津4・5階）

事業の種別 公益事業

事業報告 大津市の指定を受けた指定管理者として、明日都浜大津の4階、5階の貸室業務を中心に、施設の運営及び維持管理等を行っている。

「大津市ふれあいプラザ」の設置目的を理解し、市民の福祉の増進及び市民の交流の促進に貢献する場の提供を心掛けた。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う閉館、及び開館後も3密を避けるため、使用できる座席数を制限する等の対応を行った結果、年間の利用者数が大幅に減少した。また、事業計画にも掲げていた自主事業については、昨年度同様に利用者拡大を目的に貸室利用サークルの作品展を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期することとなった。

一方、施設の利用促進については、ホームページによる貸室予約状況の情報提供や利用申込みが重複した場合に代替利用を促し利用調整を図るなど、稼働率向上を図った。

また、職員研修においては、利用申込みや問い合わせでご利用者と直接の対応が必要となることから、接遇研修（楽しく学ぶ！接遇研修）を開催し、職員の資質向上を図った。

貸室利用状況

貸室区分：ホール、視聴覚室、大会議室、中会議室、小会議室、和室

開館日数：308日（令和元年度354日）

	項 目	貸 室 件 数	利 用 者 数
元年度	年 間	3,450件	81,100人
	1日平均	9.7件	229.1人
2年度	年 間	3,083件	47,709人
	1日平均	10.0件	154.9人

【介護員養成研修事業】

事業の種別 公益事業
滋賀県介護員養成研修事業実施要綱に基づく知事指定研修

事業報告 (1) 介護職員初任者研修課程

事業団では、平成16年度から訪問介護員養成研修事業を実施し（平成25年からは介護職員初任者研修に移行）、延べ509名（平成16年度～令和元年度の累計）が修了し、多くの方が介護分野で就業頂いているところである。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、介護職員初任者研修の実施を見送ることとなった。

今後は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、感染症対策を十分に行い、介護保険制度のもと、高齢者の増大かつ多様化するニーズに対応した適切なサービスを提供するため、必要な知識、技能を有する介護職員の養成に努めていく。

実施期間	中止
受講者数	0名（定員30名）
受講料	30,000円 介護に関わる人材が不足している中で、少しでも人材を増やす事が求められており、より研修を受けやすくするため、又、事業団として社会貢献を積極的に展開する一助となるよう、受講料を安価に設定している。

(2) 生活援助従事者研修

生活援助従事者研修は、平成30年度に新設された掃除、洗濯、調理など生活援助サービスを提供する人材を育成するための研修であり、大津市の委託を受けて実施した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症に拡大の影響で、生活援助従事者研修の実施を見送った。

実施期間	中止
受講者数	0名（定員30名）
受講料	無料

【木戸交流センター】

位 置 大津市木戸709番地

事業の種別 公益事業

事業報告 平成21年度から大津市の指定を受けた指定管理者として管理・経営を行った。

令和2年4月に木戸コミュニティーセンターから木戸交流センターに改称し、福祉、教育等をはじめとする地域の交流の場及び人と人とのふれあいや心のつながりを深める場として、広く市民に提供し、さらに多くの市民に利用されるよう情報提供を図って、効率的な貸室業務を実施した。

貸室利用状況

貸室区分 : 集会室、和室1、和室2、調理実習室

実貸室日数 : 229日 (元年度275日)

年 度	項 目	貸 室 件 数	利 用 者 数
元年度	年間計	600件	5,817人
	1日平均	2.1件	21.2人
2年度	年間計	371件	2,705人
	1日平均	1.6件	11.8人

※大津市からの「新型コロナウイルス感染症に係る市の施設閉鎖要請」に伴い、令和2年3月6日より施設を閉鎖し、5月中旬に再開した

【居宅介護支援事業】

- 事業内容
- ・介護保険法に基づく居宅介護支援事業
 - ・介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務の一部の業務（委託事業）
 - ・大津市における要介護認定要支援認定のための訪問調査実施業務（大津市委託事業）

事業報告 中すこやか居宅介護支援事業所と膳所すこやか居宅介護支援事業所、瀬田すこやか居宅介護支援事業所と南すこやか居宅介護支援事業所を統合し中すこやか居宅介護支援事業所、瀬田すこやか居宅介護支援事業所を継続事業所として、人員を集約することで質の高いサービスを展開し、特定事業所加算を取得した。また、7月には、真野地域包括支援センターの開所に伴い、榛原の里居宅介護支援事業所を同センターに移転し、真野居宅介護支援事業所として事業を実施することとなった。

利用状況では、利用者数が介護支援で前年に比べ7.1%減少し、予防支援（総合事業の介護予防ケアマネジメントを含む）で6.6%増加している。収入は、特定事業所加算の取得等により7.1%の伸びを示している。

今後は、事業所再編の効果を検証するとともに、特定事業所加算未取得の事業所に人員を配置し、加算を取得することにより収益の改善を図っていく。

居宅介護支援事業所実績件数

(1) 居宅介護支援、介護予防支援（ケアプラン作成）

・令和元年度

(単位：件)

区分	居宅介護支援件数		介護予防支援受託件数		合計	
	年間計	月平均	年間計	月平均	年間計	月平均
6 ヘルパーステーション 榛原の里居宅	5,469	456	2,002	167	7,471	623

・令和2年度

(単位：件)

区分	居宅介護支援件数		介護予防支援受託件数		合計	
	年間計	月平均	年間計	月平均	年間計	月平均
5 居宅介護支援 事業所	5,079	423	2,135	178	7,214	601

(2) 要介護（要支援）認定訪問調査

要介護（要支援）認定のための訪問調査業務を大津市等から受託し、介護支援専門員が業務を実施した。

・令和元年度 (単位：件)

区 分	訪問調査件数	
	年間計	月平均
6 ヘルパーステーション 榛原の里居宅	389	32

・令和2年度 (単位：件)

区 分	訪問調査件数	
	年間計	月平均
5 居宅介護支援 事業所	187	16

【地域包括支援センター事業】

- 事業内容
- ・介護保険法に基づく地域支援事業（包括的支援事業）
 - ・介護保険法に基づく介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業

事業報告 7月に、真野・真野北・伊香立・葛川学区の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、真野地域包括支援センターを開所した。

コロナ禍で十分な周知活動ができない中、堅田地域包括支援センターと連携しながら、引き継いだ担当地域の現状把握と情報の共有を行い、課題解決に努めた。総合相談においては、初回相談を丁寧に分析し、専門職の意見を取り入れながら、ケースの課題解決に努めた。また、介護予防推進事業として、百歳体操を立ち上げ、介護予防サポーター応援事業を後方支援して推進した。

介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業においては、地域包括支援センターに所属するプランナーだけではケアマネジメントができないため、地域の居宅介護支援事業所に事業委託することで円滑な実施ができています。委託率は80%を超えるが、可能な限りサービス担当者会議に参加し、ケアプランの内容確認及び助言を行った。

相談件数

・令和2年度（7月～3月）

区 分	延べ件数	月平均
電話相談件数	534件	59.3件
来所相談件数	260件	28.9件
訪問件数	216件	24.0件
計	1,010件	112.2件

給付管理件数

・令和2年度（7月～3月）

区 分	延べ件数	月平均
給付管理総件数	2,132件	236.9件
委託プラン件数	1,737件	193.0件

事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告の附属明細書「社会福祉法人会計基準」（平成28年厚生労働省令第79号第2条の2第3項に規定する附属明細書）「事業報告の内容を補足する重要な事項」

・ 社会福祉充実残額算定シート . . . 32頁

1. 「活用可能な財産の算定」

項目	金額
資産 (a)	1,432,363,079
負債 (b)	222,525,982
基本金 (c)	3,000,000
国庫補助金等特別積立金 (d)	724,692,431
合計 (a - b - c - d)	482,144,666

- 手入力 (必須入力) するセルです (※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定)
- 計算式が設定されており、入力することはできません。
- 手入力するセルです。(不明の場合は、記載要領に従って入力してください)
- 合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。
- プルダウンリストから選択するセルです。直接入力することはできません。

2. 「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

(1) 財産目録における貸借対照表価額

合計 (a)	807,712,867
--------	-------------

(2) 対応負債

項目	金額
1年以内返済予定設備資金借入金	0
1年以内返済予定リース債務	2,411,940
設備資金借入金	0
リース債務	6,103,680
合計 (b)	8,515,620

(3) 合計

項目	金額
財産目録合計 (a)	807,712,867
対応負債合計 (b)	8,515,620
対応基本金 (c)	3,000,000
国庫補助金等特別積立金 (d)	724,692,431
合計 (a - b - c - d)	71,504,816

3. 「再取得に必要な財産」

(1) 将来の建替費用

財産の名称等	取得年度	建設時延べ床面積 (小数点以下第4位を四捨五入)	建設時自己資金	大規模修繕実績額	減価償却累計額	建設単価等上昇率				
						①建設工事費 デフレター	②1m当たり単価上昇率			
							一般的1m当たり 単価 (a)	当該建物の建設時の 取得価額 (b)	建設時延べ床 面積 (c)	a / (b/c)
(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	2011年度	6,268.3500			570,817,905	1.140	250,000	2,572,307,000	6,268.350	0.609
(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	1995年度		269,690		242,721	1.192	250,000	269,690	-	-
(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	1996年度		768,895		692,006	1.190	250,000	768,895	-	-
(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	2011年度		3,528,000		5,547,683	1.140	250,000	8,820,000	-	-
(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	2012年度		12,222,000		10,039,915	1.149	250,000	30,555,000	-	-
(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	2013年度		14,205,600		6,738,692	1.120	250,000	35,514,000	-	-
(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	2015年度		4,752,000		10,581,120	1.081	250,000	11,880,000	-	-
(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	2018年度		122,880		51,455	1.022	250,000	307,200	-	-
(老人福祉センター-拠点) 大津市今堅田二丁目4-1	1997年度		459,375		413,438	1.181	250,000	459,375	-	-
合計										

- ※ 割合は小数点第4位四捨五入。
- ※ 行が不足する場合は適宜追加すること。

(3) 設備・車輛等の更新に必要な費用

合計	176,619,619
----	-------------

(4) 合計

項目	金額
将来の建替費用	159,521,541
大規模修繕に必要な費用	95,660,567
設備・車輛等の更新に必要な費用	176,619,619
合計	431,801,727

預り金に係る振込手数料

4. 「必要な運転資金」

項目	金額	月数	合計額
年間事業活動支出	1,442,881,463	12	360,720,365

5. 「計算の特例」

項目	金額	月数	合計額
年間事業活動支出	1,442,881,463	12	1,442,881,463

6. 「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計	計算の特例適用
活用可能な財産	482,144,666		
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	71,504,816		
再取得に必要な財産	0	1,514,386,279	※「5. 計算の特例」の適用有無を 変更する場合、以 下のセルから選択す ること。
必要な運転資金	0		
計算の特例	1,442,881,463		
合計	-1,032,240,000		適用する

7. 「現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」

項目	金額
社会福祉充実残額	-1,032,240,000
社会福祉充実計画用財産	
合計	-1,032,240,000

実残額算定シート

されていまして、手入力は不要となります。)

①、②のいずれか 高い方の率	③一般的自己 資金比率	自己資金比率		③、④のいずれか 高い方の率	合計額
		④建設時自己資金比率			
		建設時自己資金 (d)	d/b		
1.14	22%	-	-	22.0%	143,161,130
1.192	22%	269,690	100.0%	100.0%	289,323
1.19	22%	768,895	100.0%	100.0%	823,487
1.14	22%	3,528,000	40.0%	40.0%	2,529,743
1.149	22%	12,222,000	40.0%	40.0%	4,614,344
1.12	22%	14,205,600	40.0%	40.0%	3,018,934
1.081	22%	4,752,000	40.0%	40.0%	4,575,276
1.022	22%	122,880	40.0%	40.0%	21,034
1.181	22%	459,375	100.0%	100.0%	488,270
					159,521,541

(2) 大規模修繕に必要な費用

減価償却累計額 (a)	一般的大規模修繕 費用比率 (b)	大規模修繕実績額	合計額①	※大規模修繕額が不明な場合		合計額 (①、②のいずれか)
				貸借対照表価額 (c)	合計額② ((a×b) × c / (a+c))	
570,817,905	30%	-	-	647,053,474	90,982,442	90,982,442
242,721	30%	-	-	26,969	7,281	7,281
692,006	30%	-	-	76,889	20,760	20,760
5,547,683	30%	-	-	3,272,317	617,475	617,475
10,039,915	30%	-	-	20,515,085	2,022,284	2,022,284
6,738,692	30%	-	-	28,775,308	1,638,012	1,638,012
10,581,120	30%	-	-	1,298,880	347,060	347,060
51,455	30%	-	-	255,745	12,850	12,850
413,438	30%	-	-	45,937	12,403	12,403
						95,660,567

